

道路製品

ASUZAC

Contents

| | | | |
|---------------------------|-------|--------------------------------|-------|
| 境界ブロック | P.318 | プレキャスト街渠柵 | P.348 |
| 舗装止めブロック | P.327 | PG ガッター | P.349 |
| 植樹柵 | P.329 | KJ 側溝 | P.351 |
| 鉄筋コンクリート L 形 | P.329 | アールガッター | P.352 |
| 国土交通省 L 形 | P.330 | ラウンドアバウト縁石 | P.353 |
| 市 L 形ブロック | P.338 | ポーソーシール T | P.355 |
| 分離帯 | P.342 | ライン導水ブロック (小型水路内蔵歩車道境界ブロック) | P.357 |
| PL ガッター (プレキャスト L 形側溝) | P.343 | 自在 R 連続基礎 | P.363 |
| PL 用鋼製柵 | P.347 | ポラウエーブ防草タイプ (大型防草張りブロック) | P.373 |

ラウンドアバウト縁石は、車がラウンドアバウトのエプロン部に乗り入れた時に不快感を感じるため、環道を走行するようになり、走行スピードが抑制されます。結果として減速効果につながります。



最新の施工事例



特長

1. ラウンドアバウトの中央島と環道を分けるエプロン部（R10m）に対応しています。
2. 最大 30cm の厚みをもつため耐久性に優れています。またラウンドアバウトの円形に沿って製品規格を決めて製造するため、目地の開きがなく、円形に敷設することが可能です。
（R10m でない場合でも、計画しているエプロン形状に合わせて製品をご提案します。）
3. バイコン製品のため、凍害、塩害に強く、従来型の歩車道境界ブロックを使用した場合と異なり、大型車が乗り入れても割れにくくなります。
4. 10cm のスロープ状の段差を設けているため、車の走行スピードを抑制します。

L型擁壁

擁壁

のり面

張出製品

河川製品

ため池

ポックスカルパース

パイシ付管

マンホール

側溝

道路製品

水路製品

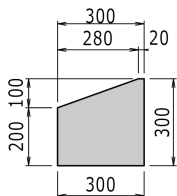
貯留システム

石材

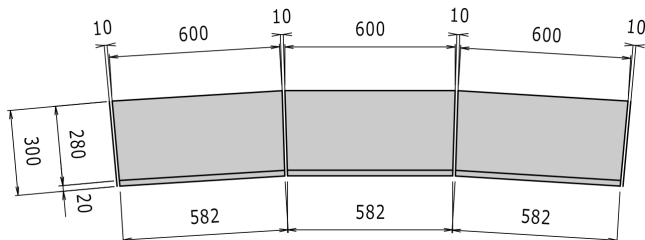
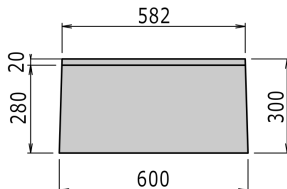
付録

【製品寸法図】

側面図



平面図



スピード抑制効果



エプロンと環道に段差が無いと、円の内側をショートカットして走行しスピードの抑制が出来ません。環道を走行すれば、自然と走行スピード抑制できるので、円の内側を走行しないようにラウンドアバウト縁石で段差をつけられます。

運転手に注意を促す丈夫な構造



ラウンドアバウト縁石を敷設することでH=100mmの段差と適度な傾斜をつけて、車がエプロン部に乗り入れた時に運転者が不快感を感じるように段差をつけられます。従来型の歩車道境界ブロックを使用した場合と異なり、縁石に厚みがあるため、大型車が乗り入っても割れにくくなります。

写真↑の矢印のように、円内をショートカットしてエプロン部にはみ出して走行する車があります。エプロンと環道に段差が無いと、このような走行となりがちで、走行スピードの抑制になりません。しかし、ラウンドアバウトの目的の一つとして車の走行スピード抑制があります。環道を走行すれば、自然と走行スピード抑制できますが、直進する車はエプロン部にはみ出して走行しスピードが抑制されません。環道と中央島を分ける「エプロン部」には、歩車道境界ブロックの乗り入れを使用するのが従来工法でした。